

ばんしん景況レポート

〒670-0962
姫路市南駅前町110番地



照会先 経営企画部
TEL 079-280-3398(直通)
FAX 079-281-4667

中小企業景気動向調査 2024年1月～3月期 NO. 74

【概況】 2024年1月～3月期の業況は5.1、前期比 2.5ポイントマイナスと前期を下回りました。来期は両地域とも上向き見通しです。

景気動向調査主要指数D.I (総合)

項目	全地域			姫路地域			神戸地域		
	2023年10月～12月期	2024年1月～3月期	2024年4月～6月期予想	2023年10月～12月期	2024年1月～3月期	2024年4月～6月期予想	2023年10月～12月期	2024年1月～3月期	2024年4月～6月期予想
業況	7.6	5.1	7.1	7.4	3.7	6.7	6.7	6.6	7.3
売上額	13.4	9.0	12.1	13.9	7.7	12.5	12.3	10.9	11.3
収益	6.0	3.0	6.2	3.0	▲ 2.2	3.3	6.6	8.0	7.3
販売価格	25.2	21.1	18.8	27.3	20.6	18.4	22.7	20.4	19.7
仕入価格	44.1	40.9	32.4	51.1	43.4	36.0	38.4	38.0	29.3
在庫	1.1	▲ 0.2	▲ 2.2	1.2	▲ 1.5	▲ 3.4	0.0	▲ 0.5	▲ 3.1
資金繰り	▲ 0.3	▲ 1.0	12.7	4.8	▲ 0.7	10.0	▲ 2.2	▲ 0.7	13.5
人手	▲ 22.2	▲ 21.9	▲ 22.6	▲ 24.8	▲ 27.3	▲ 28.5	▲ 20.8	▲ 17.6	▲ 16.5
設備状況	▲ 8.3	▲ 7.1	▲ 8.8	▲ 12.6	▲ 7.3	▲ 9.5	▲ 3.9	▲ 7.9	▲ 9.6

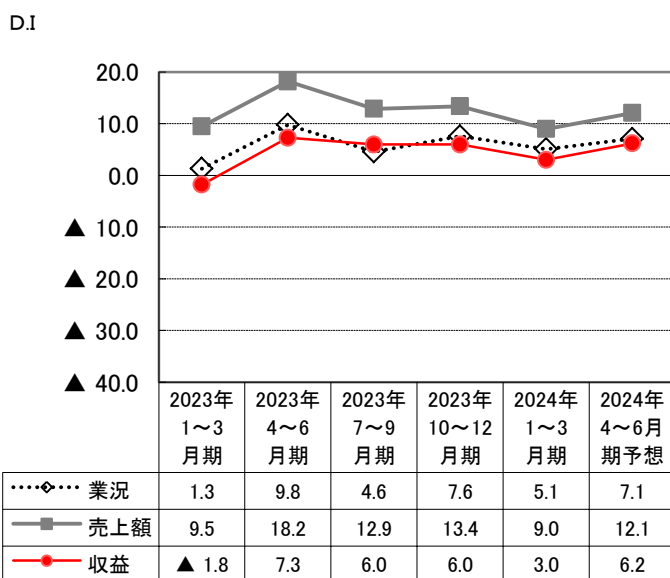
2024年1月～3月期実績

《 小売業、不動産業で上向き 》
当期の全地域の全業況D.Iは5.1、前期比2.5ポイントマイナスと前期を下回りました。全地域の業種別では、小売業、不動産業において上向きました。

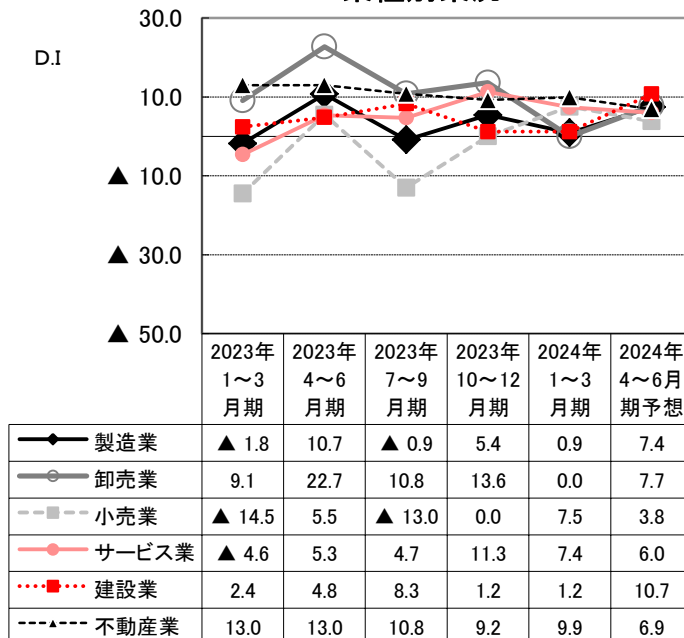
2024年4月～6月期見通し

《 両地域とも上向き見通し 》
来期の全地域の全業種予想業況D.Iは7.1、当期比2.0ポイントプラスと回復に向かう見通しです。全地域の業種別では、製造業、卸売業、建設業において上向き見通しです。地域別では、両地域とも上向き見通しです。

全地域D.I(総合)



業種別業況D.I



調査要領

1. 調査目的

当金庫営業地域内の景気動向を把握し、お取引先の経営者の皆様に景気に関する情報提供をおこない、経営にお役立ていただくことを目的としています。

2. 調査時期

2024年3月上旬

3. 調査対象期間

2024年1月～3月期実績（2023年10月～12月期との比較）

2024年4月～6月期予想（2024年1月～3月期実績との比較）

4. 調査方法

調査員による「面接聞き取り調査」

5. 分析方法

本調査はD.I（ディフュージョン・インデックス）による分析

D.Iとは、景気が「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」、「楽」と回答した企業の割合から「悪い」、「減少」、「下降」、「不足」、「苦しい」と回答した企業の割合を差し引いた構成比差から景気の方角を判断する指数です。

6. 調査地域

姫路地域・・・姫路地区（姫路市）
東播地区（加古川市・高砂市・三木市・稲美町）
西播地区（赤穂市・相生市・たつの市・太子町）
北播地区（加西市・福崎町）
神戸地域・・・神戸地区（神戸市・西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市）
明石地区（明石市・神戸市西区）

※調査地域については、上記地区に所在する当金庫支店を基準とした地域設定であります。

調査先および回答状況

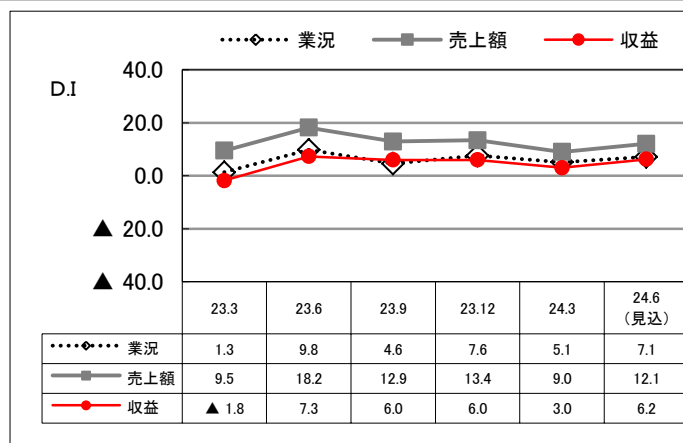
	依頼数	回答数	回答率
製造業	112	111	99.1%
卸売業	67	67	100.0%
小売業	55	55	100.0%
サービス業	151	151	100.0%
建設業	84	84	100.0%
不動産業	131	131	100.0%
合計	600	599	99.8%

本レポートは、標記時点における情報提供のみを目的としたものであります。したがって投資等や施策実施に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本レポート掲載資料については、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

1. 業況

全業種における業況D.Iは5.1、前期比2.5ポイントマイナス（前年同期比+3.8）と前期を下回りました。業種別では、小売業、不動産業において上向きしました。

来期予想D.Iは7.1、当期比2.0ポイントプラスと回復に向かう見通しです。業種別では、製造業、卸売業、建設業において上向く見通しです。



2. 売上額

全業種における売上額D.Iは9.0、前期比4.4ポイントマイナス（前年同期比 ▲0.5）と増加幅が縮小しました。業種別では、サービス業において上向きしました。

来期予想D.Iは12.1、当期比3.1ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。業種別では、小売業、サービス業において低迷する見通しです。

3. 収益

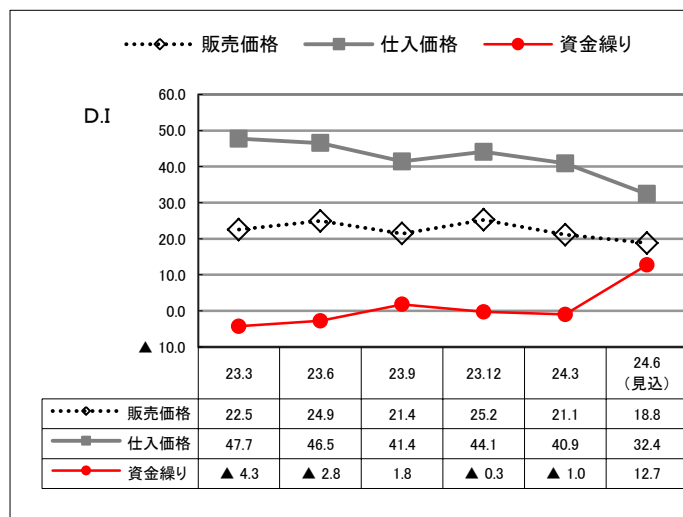
全業種における収益D.Iは3.0、前期比3.0ポイントマイナス（前年同期比+4.8）と増加幅が縮小しました。業種別では、小売業、サービス業において改善しました。

来期予想D.Iは6.2、当期比3.2ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。業種別では、サービス業以外の業種において改善する見通しです。

4. 資金繰り

全業種における資金繰りD.Iは▲1.0、前期比0.7ポイントマイナス（前年同期比+3.3）と厳しさが増えました。業種別では、小売業、不動産業において和らぎました。

来期予想D.Iは12.7、当期比13.7ポイントプラスと窮屈感を脱する見通しです。業種別では、全業種において和らぐ見通しです。



5. 販売価格

全業種における販売価格D.Iは21.1、前期比4.1ポイントマイナス（前年同期比 ▲1.4）と上昇幅が縮小しました。業種別では、サービス業において上昇しました。

来期予想D.Iは18.8、当期比2.3ポイントマイナスとさらに上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、小売業以外の業種において低下する見通しです。

6. 仕入価格

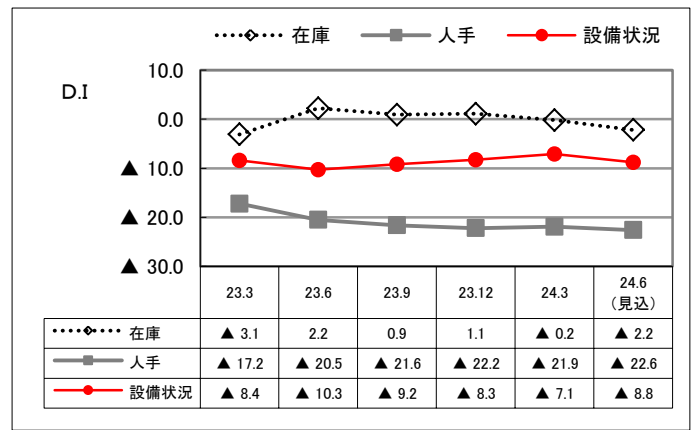
全業種における仕入価格D.Iは40.9、前期比3.2ポイントマイナス（前年同期比 ▲6.8）と上昇幅が縮小しました。業種別では、サービス業において上昇しました。

来期予想D.Iは32.4、当期比8.5ポイントマイナスとさらに上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、全業種において低下する見通しです。

7. 在庫

全業種における在庫D.Iは▲0.2、前期比1.3ポイントマイナス（前年同期比+2.9）と過剰から品薄へと転じました。業種別では、小売業で過剰から品薄へと転じました。

来期予想D.Iは▲2.2、当期比2.0ポイントマイナスと不足感が強まる見通しです。業種別では、製造業、建設業、不動産業で不足感が強まる見通しです。



8. 人手

全業種における人手D.Iは▲21.9、前期比0.3ポイントプラス（前年同期比 ▲4.7）と不足感が改善しました。業種別では、卸売業、サービス業、不動産業で不足感が改善しました。

来期予想D.Iは▲22.6、当期比0.7ポイントマイナスと不足感が強まる見通しです。業種別では、製造業、卸売業、サービス業、不動産業で不足感が強まる見通しです。

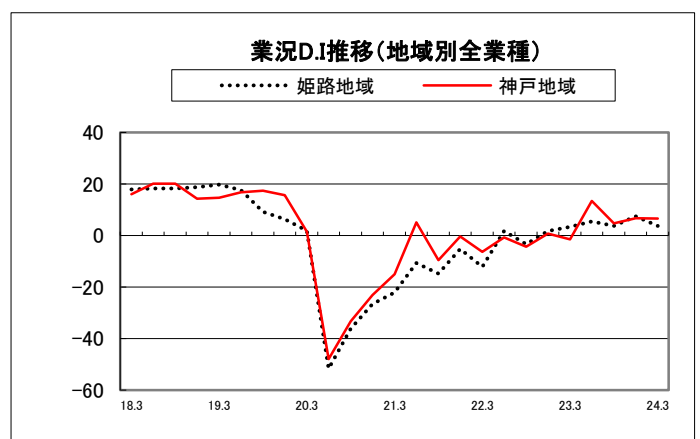
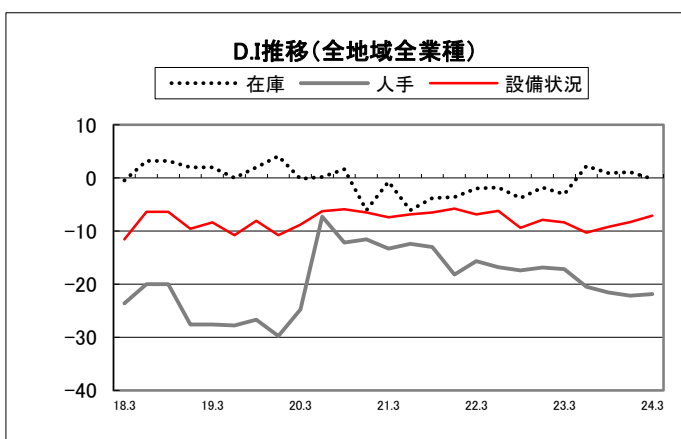
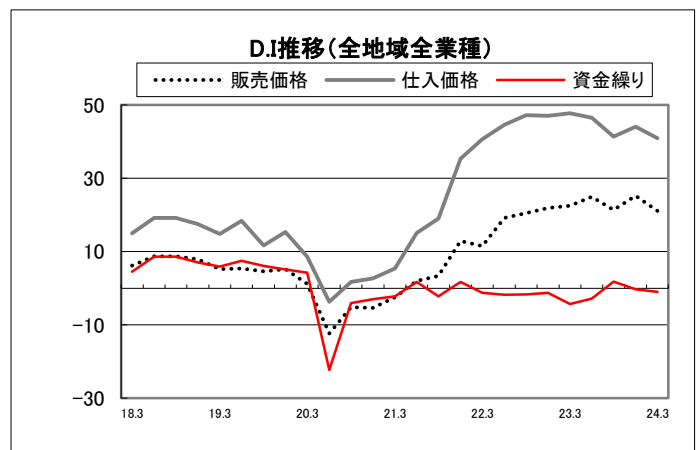
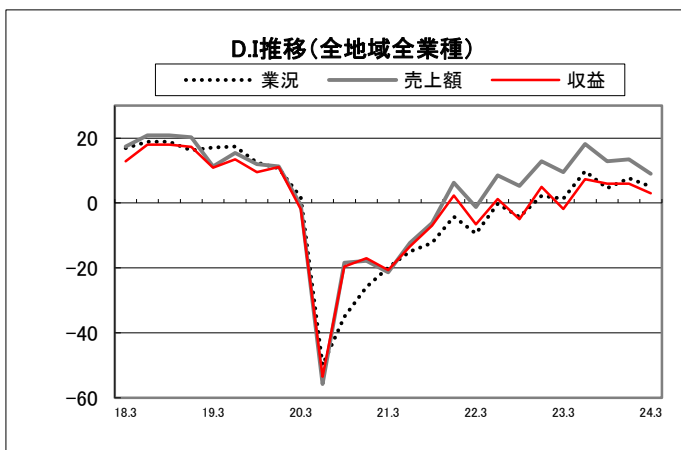
9. 設備状況

全業種における設備状況D.Iは▲7.1、前期比1.2ポイントプラス（前年同期比+1.3）と改善しました。

また、設備投資を行ったと回答した企業の割合は30.3%、前期比2.7ポイントプラス（前年同期比 ▲0.6）と増加しました。また業種別では、卸売業において設備投資を行った企業の割合が減少しました。

来期に設備投資を行うと回答した企業の割合は37.3%、当期比7.0ポイントプラスと増加する見通しです。

過去D.I推移

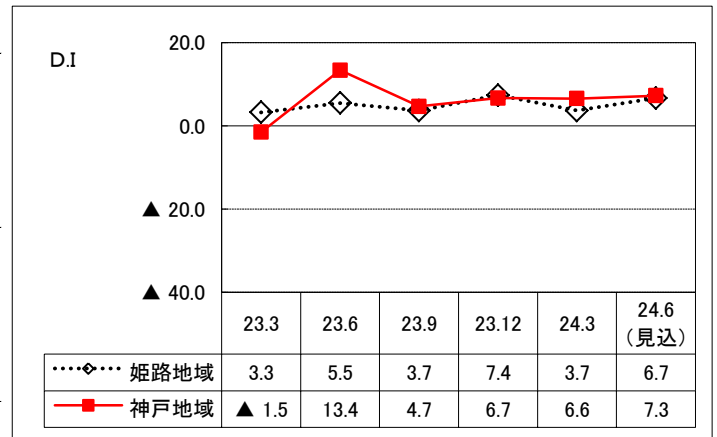


1. 業況

姫路地域の業況D. Iは3.7、前期比3.7ポイントマイナス（前年同期比+0.4）と前期を下回りました。
来期予想D. Iは6.7、当期比3.0ポイントプラスと回復に向かう見通しです。

神戸地域の業況D. Iは6.6、前期比0.1ポイントマイナス（前年同期比+8.1）と前期を下回りました。
来期予想D. Iは7.3、当期比0.7ポイントプラスと回復に向かう見通しです。

当期の地域別業況は、両地域とも前期を下回りました。



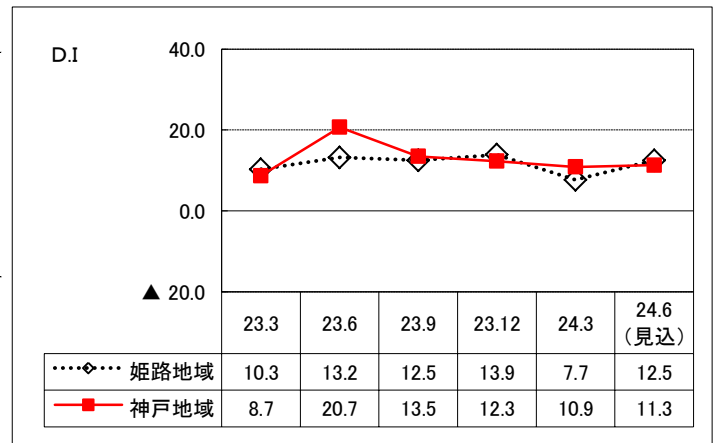
2. 売上額

姫路地域の売上額D. Iは7.7、前期比6.2ポイントマイナス（前年同期比 ▲2.6）と増加幅が縮小しました。

来期予想D. Iは12.5、当期比4.8ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。

神戸地域の売上額D. Iは10.9、前期比1.4ポイントマイナス（前年同期比+2.2）と増加幅が縮小しました。

来期予想D. Iは11.3、当期比0.4ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。



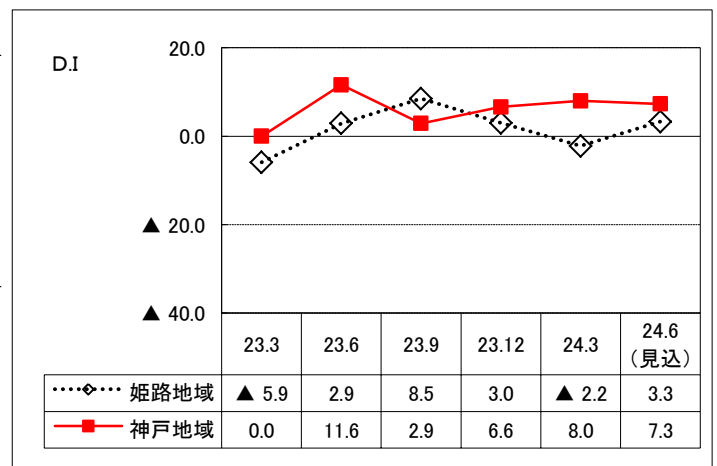
3. 収益

姫路地域の収益D. Iは▲2.2、前期比5.2ポイントマイナス（前年同期比+3.7）と水面下に落ち込みました。

来期予想D. Iは3.3、当期比5.5ポイントプラスと好転する見通しです。

神戸地域の収益D. Iは8.0、前期比1.4ポイントプラス（前年同期比+8.0）と好調さを強めました。

来期予想D. Iは7.3、当期比0.7ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。

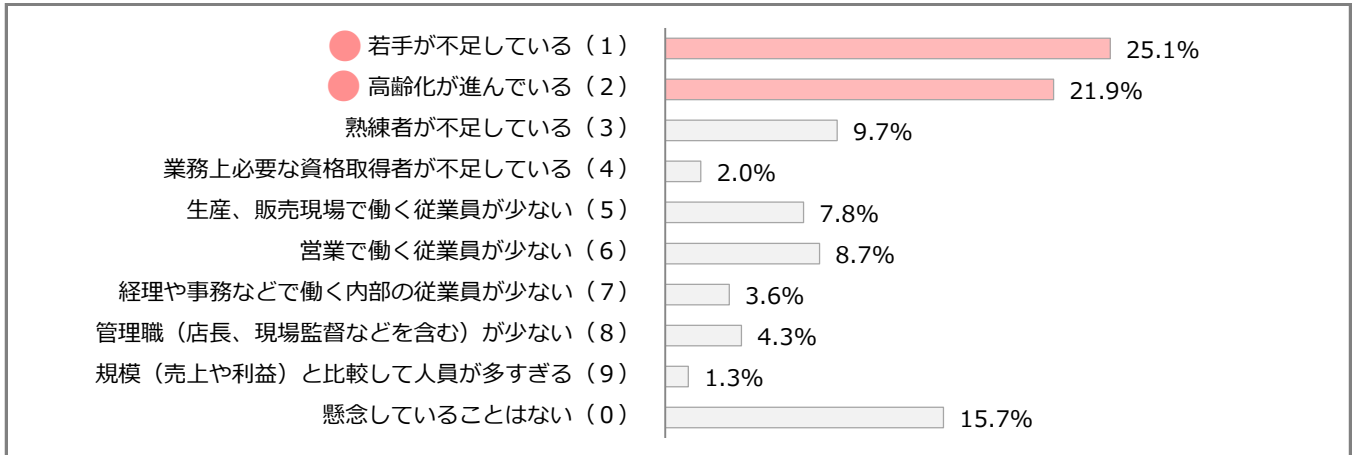


「中小企業における人材戦略について」

回答により合計が100%とまらない場合があります。

問1

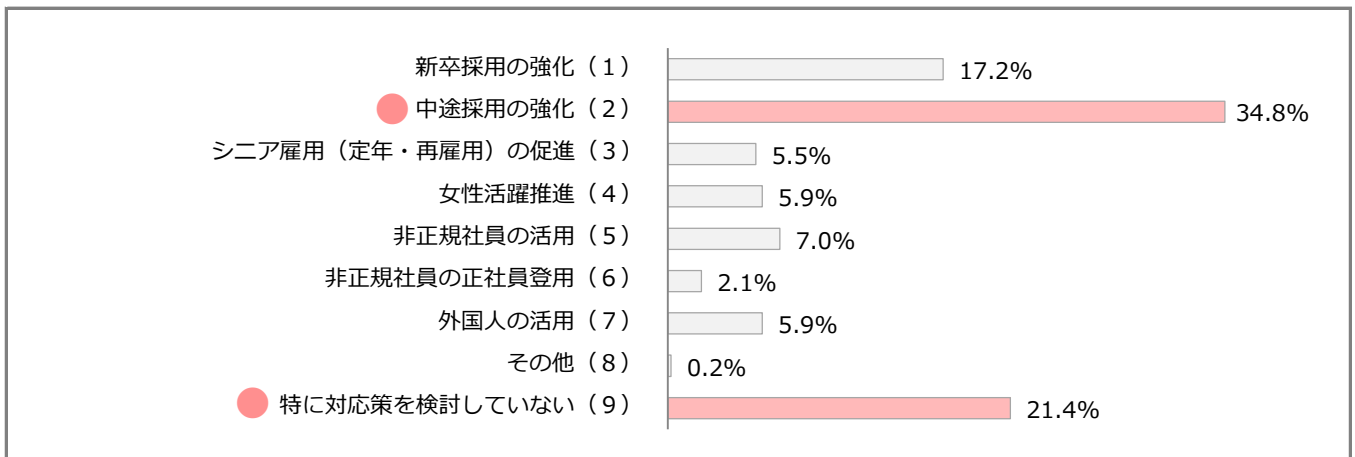
貴社では、現在の人材の状況について懸念していることはありますか。1～0の中から、あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。



「現在の人材の状況について懸念していること」について
「若手が不足している」が最多回答、次いで「高齢化が進んでいる」という結果でした。

問2

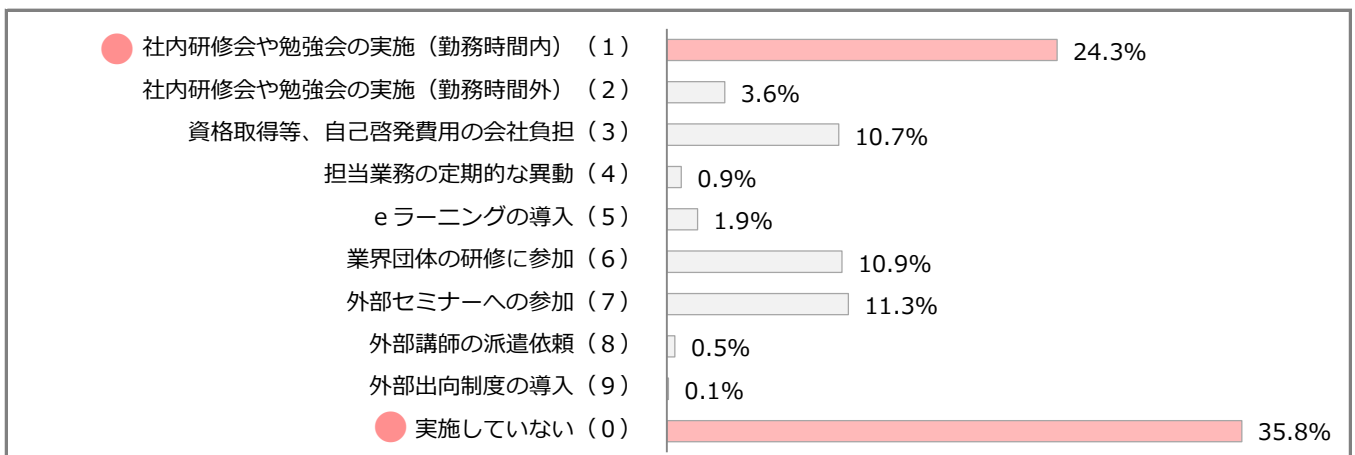
今後の貴社の人材に対する対応策について、最も近いものを、1～9の中から3つ選んでお答えください。



「今後の貴社の人材に対する対応策」について
「中途採用の強化」が最多回答、次いで「特に対応策を検討していない」という結果でした。

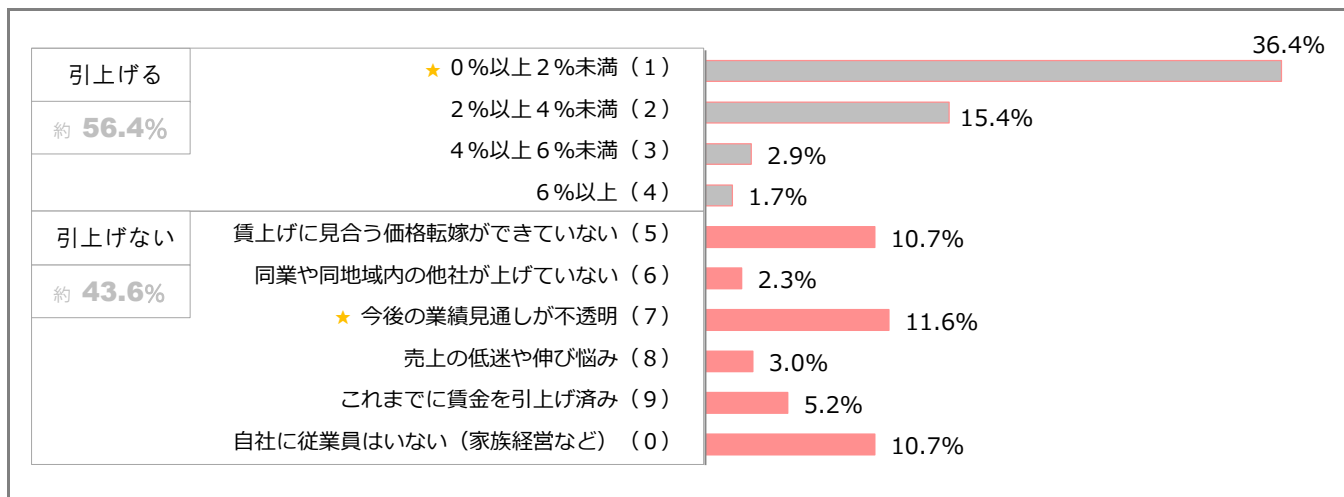
問3

貴社では、人材育成において、職場内での実地の訓練 (OJT) 以外の取組みを実施していますか。1～9の中から、あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。実施していない方は0を選択してください。



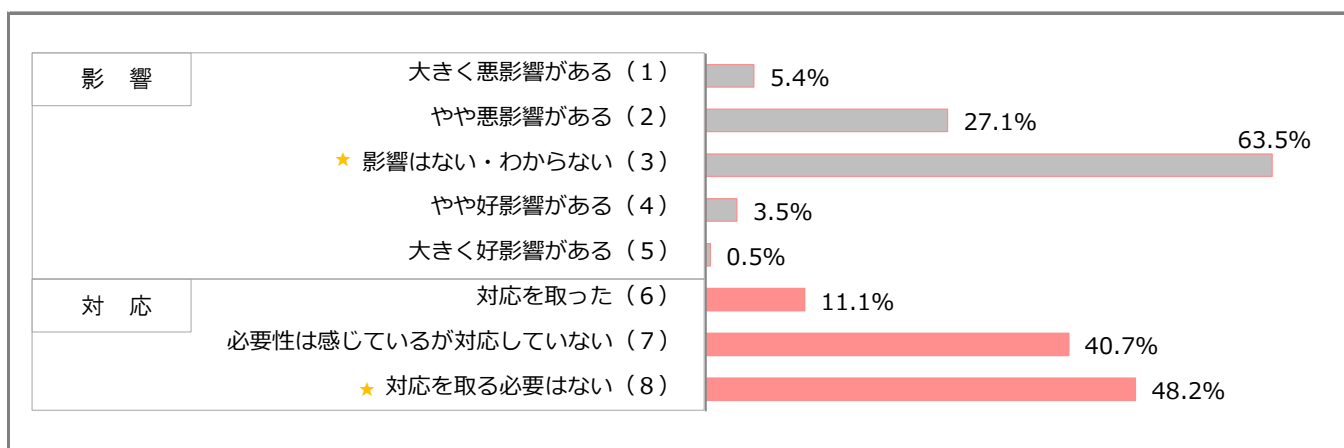
「人材育成において、職場内での実地の訓練 (OJT) 以外の取組みを実施していますか」について
「実施していない」が最多回答、次いで「社内研修会や勉強会の実施 (勤務時間内)」という結果でした。

問4 貴社では、人材定着などに向けて、2024年中に賃金（定期昇給分除く、賞与や一時金除く）の上げを実施（実施予定を含む。）しますか。上げる方はその賃金上げ率について、上げない方は上げなかった理由について、それぞれお答えください。



2024年中に賃金を上げる方の賃金上げ率については「0%以上2%未満」が最多回答、上げない方の上げない理由については「今後の業績見通しが不透明」が最多回答でした。

問5 2024年4月から、建設業、自動車運転業、医師などで残業時間の上限規制が始まります（2024年問題）。これに伴い、貴社では、業務への影響が出ると見込まれますか。1～5の中から選んでお答えください。また、貴社では2024年問題を受けて何らかの対応策を取りましたか。6～8の中から選んでお答えください。



残業時間の上限規制が始まる2024年問題の影響については「影響はない・わからない」が最多回答、対応については「対応を取る必要はない」が最多回答でした。